

📌 予防接種・健康診断

★ 予防接種

📞 豊橋市保健所 健康政策課 ☎39-9109



大切な子どもを病気から守るために予防接種を受けましょう。

定期予防接種(無料)

対象時期になりましたら、市から予診票を送付します。

🟠 標準的な接種年齢 🔵 法律で定められた接種対象年齢

区分	5歳	7歳	8歳	9歳	11歳	13歳
ヒブ(インフルエンザ菌b型)	接種忘れがないか確認しましょう					
小児用肺炎球菌	接種忘れがないか確認しましょう					
4種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ)	接種忘れがないか確認しましょう				DT2期 (ジフテリア・破傷風) (小学校6年生で1回接種)	
MR(麻しん・風しん混合)	2期(5歳～7歳未満の子で小学校就学前1年間に1回接種)					
日本脳炎	1期初回(6日以上、標準的には28日までの間隔を置いて2回接種) 追加(2回目接種後6か月以上、標準的にはおおむね1年後に1回接種)				2期 (小学校4年生で1回接種)	

- HPV(子宮頸がん予防)ワクチン: 小学校6年生～高校1年生相当年齢の女子が対象
接種を希望する方は、健康政策課へ申込みが必要です。
 - 市外の医療機関で接種を希望する場合、接種前に申請が必要です。接種に必要な書類の作成には1週間から10日ほどかかります。
申請前に接種した場合の払い戻しはできません。なお、任意予防接種は費用助成対象となりません。
- ※ワクチンの同時接種は、必要な免疫を早くつけてお子さんを守るだけでなく、通院の回数を減らすこともできます。医師の判断と保護者の方の同意によって行うことができます。なお、複数のワクチンを同時接種しても、1種類ずつ接種する場合と安全性や効果に違いはありません。

年長さん(小学校就学前年度)になったら

小学校入学前に、MR(麻しん・風しん混合)ワクチンを忘れずに接種しましょう。
また、他にも接種忘れがないか、母子健康手帳で再度確認をしましょう。

任意予防接種の費用助成について

種類	対象年齢	助成回数	助成額
おたふくかぜ*	5歳～7歳未満で小学校就学前の1年間	1回	2,000円
MR(麻しん・風しん混合)	接種歴2回未満の子 (年長前の子は1期末接種)	1回	5,500円

※すでに罹患した子、2回接種している子は対象外です。

- MR(麻しん・風しん混合)の費用助成は令和4年3月31日までの限定事業です。
- 接種費用は医療機関によって異なります。接種費用から助成額を引いた額を医療機関へお支払いください。
- 任意予防接種は、法律に基づかない予防接種です。予防接種の効果、副反応について医師から十分な説明を受けた上で接種してください。
- 豊橋市内の実施医療機関に確認・予約のうえ、母子健康手帳と豊橋市内に住民登録をしていることを証明できる書類(子ども医療費受給者証、在留カードなど)を持参し、接種してください。

★ 就学時健康診断

📞 保健給食課 ☎51-2815



対象 翌年度、小学校に入学する子ども

日時 10月中旬～11月上旬

※7月下旬からホームページ、市内の幼稚園・保育園・認定こども園で確認できます。
個別の案内通知は、10月上旬に健診場所に指定された小学校から送付されます。

場所 指定された小学校(10月1日に住民票がある校区の小学校)

※健診場所の変更は8月末～9月末までの期間に申請が必要です。(申請条件あり)



子どもの薬もジェネリック医薬品へ

豊橋市には、子ども医療費助成制度(制度の詳細は27ページ)があり、対象となる場合は、病院や薬局(処方薬)の自己負担が実質0円なので、ジェネリック医薬品に切り替えても、自己負担額にあまり影響はしません...

しかし!実際には健康保険が7~8割、自治体が2~3割を負担していて、医療費が増えると健康保険の財政が圧迫され、健康保険料・保険税の引き上げを招くことがあります。

また、医療費助成にもみなさんの税金が投入されていますので、保険制度を安定して継続的に維持していくためにも、医療費全体の節約が重要になります。

お子さんの薬もジェネリック医薬品を積極的に利用しましょう。なお、P64に手軽に意思表示ができる希望カードを掲載していますので切り取ってご活用ください。

<ジェネリック医薬品とは>

先発医薬品の特許期間が切れた後に販売が許可された、新薬と同じ有効成分・効用で作られた薬です。開発費用が新薬より抑えられることなどにより、安価で提供されています。